

# 女性学講座

## 女たちが読む「源氏物語」

定員 50名

時間 13:30～15:30

受講料 2,500円(全5回)

申込締切日 9/19

※各回ごとの申込みも可能です。その場合は、1回700円の受講料となります。

### 講座内容

コーディネーター 長谷川 啓

	日程	テーマ	講師
第一回	9月26日(土)	与謝野晶子の源氏物語	渡邊澄子 (大東文化大学名誉教授)
第二回	10月17日(土)	瀬戸内寂聴の源氏物語	小林裕子 (城西大学講師)
第三回	10月24日(土)	田辺聖子の源氏物語	沼田真里 (法政大学学術研究員)
第四回	11月14日(土)	林真理子の源氏物語	矢澤美佐紀 (城西大学講師)
第五回	11月21日(土)	円地文子の源氏物語	長谷川啓 (城西短期大学教授)

昨年は源氏物語千年紀にあたり、日本国中、たいへん沸き立ちました。周知のように「源氏物語」は、平安時代中期に紫式部によって紡ぎ出された長編の物語で、光源氏を中心に王朝文化最盛期における宮廷貴族の生活が描かれています。

今年度は、遅ればせながら、この最も有名かつ大作である古典文学に挑戦することになりました。といっても、あらゆる角度から研究され語られている源氏物語そのものではなく、日本の作家によって現代語訳されている作品をフェミニズム／ジェンダーの視点から読み解いていくつもりです。

日本の近現代小説家による現代語訳には、谷崎潤一郎訳のような男性作家のものもありますが、ここでは、与謝野晶子・円地文子・瀬戸内寂聴・田辺聖子・林真理子など、明治から現代までの女性作家の作品を取り上げ、各時代・各個性による読みのあり方を検討してみたいと考えています。講師陣はすべて女性たち、しかも古典文学研究家ではなく、近現代文学研究家たちによる、まさに女たちが読む源氏物語の世界をお届けします。

第一回目は、近代文学研究者として有名な渡邊澄子氏を講師にお招きし、光源氏を中心とした源氏物語の全体的なお話、そもそも源氏物語とは何ぞやについて語っていただき、2回目からは、光源氏をとりまくさまざまな女性像を追跡していく予定です。

フェミニズム／ジェンダーの視点によると源氏物語の世界はいかに見えてくるか、光源氏をめぐる女たちがどのように見えてくるか、どうぞ、ご期待ください。

### アクセス

- 東武東上線 池袋駅より坂戸駅乗換 越生線 川角(かわかど)駅より徒歩10分
- 関越自動車道 鶴ヶ島・坂戸インターチェンジより車で20分 学内駐車場あり
- JR川越線・八高線 高麗川(こまがわ)駅よりシャトルバスで15分



お問い合わせ



城西大学 生涯教育センター

〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1 TEL.049-271-7795 FAX.049-271-7981 E-mail:extension@stf.josai.ac.jp 受付時間 9:30～16:30(11:30～12:30を除く)

後援:ひだか男女共生会議